

第五次国土利用計画(全国計画)の骨子のポイント

国土利用をめぐる基本的条件の変化

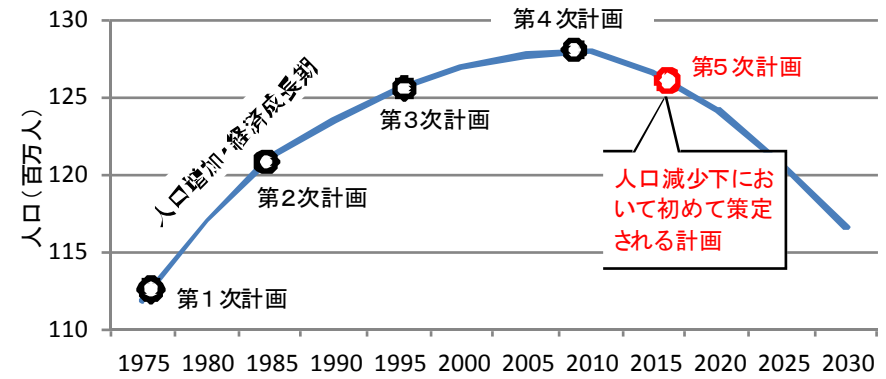
- 都市における空き地・空き家の増加
- 農地等の管理水準の低下
- 必要な施業が行われない森林の存在
- 都市化等による健全な水循環への影響
- 良好な自然環境の喪失・劣化、生物多様性の損失
- 都市や農山漁村における良好な景観の喪失
- 地域資源の持続的な利活用への生涯
- 巨大災害の切迫、風水害等の激甚化
- 将来の気候変動やその影響の懸念
- 災害リスクの高い地域に人口が偏在
- 都市における脆弱性増大

国土の適切な管理と土地の有効利用が必要

自然と共生した持続可能な国土づくりが必要

災害に対し粘り強くしなやかな国土を構築する必要

人口減少下における国土利用計画



本格的な人口減少下においては、これまでとは違った視点で国土利用上の課題を解決することが求められる

国土利用の目指すべき方向

適切な国土管理を実現する国土利用

- ・都市のコンパクト化に向けた居住、都市機能等の中心部や生活拠点等への誘導
- ・農用地の確保と良好な管理
- ・森林の整備・保全
- ・資源等を持続可能な形で利活用

自然環境と景観を保全・再生する国土利用

- ・グリーンインフラの取組を推進
- ・自然生態系のまとまりとつながりを確保
- ・野生生物の生息・生育地の確保
- ・都市緑地、農地や里地里山等を結ぶ生態系ネットワーク形成

安全・安心を実現する国土利用

- ・ハード対策とソフト対策の適切な組合せ
- ・地域の実情を踏まえ、災害リスクの高い地域の土地利用を制限し、安全な地域へ居住を促進
- ・気候変動の影響の把握と適切な対処

「防災・減災」、「適切な国土管理」、「自然との共生」の視点を重ねた複合的な国土利用を行う(多面的な国土利用)

開発圧力が低下する機会を利用し、より安全で持続可能な国土利用を行う(選択的な国土利用)

以上の視点により、土地利用の量的調整及び質的向上を進める

国土利用の総合的マネジメント

- 地域の特性や住民の合意形成を通じた土地利用の調和を促進
- 多様な主体が地域づくりを担う「国土の国民的経営」を推進